

口蹄疫復興対策 事例紹介

～口蹄疫被害復興の願いを込めて～

1. 日時 平成22年 9月 4日(土) 8:00～10:00
2. 活動場所 木城町大字椎木
広域農道沿いの農地約25,000㎡(内今回の対策約3,000㎡)
3. 活動内容 コスモス、レンゲの種蒔き
4. 主催 岩渕オニバス会(農地・水・環境保全向上対策活動組織)
5. 参加者 岩渕オニバス会の皆さんを中心に約60名(町職員他)

5. 詳細

木城町の農地・水・環境保全向上対策活動組織である岩渕オニバス会の主催で、広域農道沿いに花を植える活動を行いました。口蹄疫により疲弊した地域を盛り上げようというのが目的です。木城町へ南側から入る広域農道沿いに花の植栽を計画(計画総面積25,000㎡:レンゲ10,000㎡、コスモス6,000㎡、菜の花6,000㎡)していて、当日はその内、レンゲとコスモスの半分ほどを植える計画でした。

活動支援のために、コスモスの種子(約3,000㎡分)を、中山間ふるさと保全基金にて購入しました。

当日は天候にも恵まれ、総勢60名ほどが参加しました。農地・水・環境保全向上活動(法面等の草刈り)を男性中心で行い、女性中心で種蒔きを行いました。全体の参加者としては、男性中心で女性は2割程度でした。年齢は50～60代が中心でしたが、中には82歳の女性もいて、皆さん元気に活動していました。

活動写真を掲載します。

挨拶をする岩渕オニバス会会長(下)と
それを聞く会員の皆さん(右)



風にたなびく農地・水の旗





種蒔き予定地



準備中



種蒔き中!



最後に記念撮影!



農地・水活動取組中!

